

「専門学校における企業交流・企業連携に関する調査」

全国専門学校情報教育協会  
調査委員会

# 「専門学校における企業交流・連携に関する調査」

※回答のご記入は、別紙「回答用紙」へお願い致します。※

## 1) カリキュラムについて

1)-1. 貴校では、カリキュラム開発で企業とどのような交流や提携を行っておりますか。

※「カリキュラム開発」における「交流・提携」とは、業界ニーズ・企業ニーズの調査・聴取、履修表の作成、シラバスの内容の検討、履修判定試験内容のチェックなどを企業の事業部（人事部ではなくて実務部隊）の担当者をまじえて検討することを意味している。シラバスに反映していない「交流・提携」はこの場合の「交流・提携」とは見なさない。また一科目を超えた諸科目の構成全体を踏まえた「シラバス」反映のない「交流・提携」は「シラバス」とは認めない。したがって、外部講師の自作シラバスはそれだけでは、この「カリキュラム開発」における「交流・提携」とは見なさない。

※「頻繁に交流・提携がある」は最低でも年に一回以上毎年決まった時期に交流・提携が必ずある

※「たまに交流・提携がある」は最低でも2、3年に一回

- ① 定期交流・組織的な提携が存在している（年に一回以上組織的な交流・提携があり、年間スケジュール化されている）
- ② 不定期な交流・提携がある（不定期に頻繁に※交流・提携がある、たまに※交流・提携がある）
- ③ 過去には頻繁な定期交流・組織的な提携があった（今はない）
- ④ 過去には不定期だが交流・提携があった（今はない）
- ⑤ 企業連携によるカリキュラム開発はやっていないが、就職関連企業からの、自校カリキュラム評価をカリキュラム開発に役立てている
- ⑥ 今は存在していないが、3年以内に取り組む予定
- ⑦ 今は存在していないが、5年以内に取り組む予定
- ⑧ 企業交流や提携を行う計画はない

1)-2. 上記の問いで、「交流・提携がある」と答えた学校に対してお伺いします。カリキュラム開発における企業交流・提携にかけている費用はどのくらいですか。

（計算式はカリキュラム開発における「交流・提携全経費」÷「全在籍者実数」）

- ① 学生1人あたり 100 円以下
- ② 学生1人あたり 500 円以下
- ③ 学生1人あたり 1,000 円以下
- ④ 学生1人あたり 5,000 円以下
- ⑤ 学生1人あたり 10,000 円以下
- ⑥ 学生1人あたり 10,000 円以上

1)-3. 1)-1 で「⑤企業連携によるカリキュラム開発はやっていないが、就職関連企業からの、自校カリキュラム評価をカリキュラム開発に役立てている」と回答した学校にお伺いします。企業にどの程度の評価やチェックを行って頂いていますか。

- ① 各科すべて各科目のシラバス内容までのチェックをやってもらっている
- ② 科によって各科目のシラバス内容までのチェックをやってもらっている
- ③ 各科すべて履修表レベルの科目評価（科目配置を含めた）をやってもらっている
- ④ 科によって履修表レベルの科目評価（科目配置を含めた）をやってもらっている
- ⑤ 個々の科目について意見をもらう場合がある
- ⑥ 評価やチェックをやって貰ったことがない

## 2) 教材開発について

2)-1. 貴校では、教材開発で企業とどのような交流や提携を行っておりますか。

※ここで言う①「教材開発」とは、各科目における単独の教材開発ではなく、各課程の修了目標（卒業時の学園固有の人材目標、学園固有のカリキュラム全体の教育目標）をコアで担う科目の教材開発を意味する。利用する科目のメイン教材を意味し、コマ単位に展開できる内容を有したものを企業主導で開発したものを意味する。80%は企業の実務家の書き下ろしでなければならない。

- ① 企業との組織的、戦略的な教材開発提携を既に実施しており、就職先が高度化した実績がある
- ② 企業との組織的、戦略的な教材開発提携を既に実施しているが、就職先の高度化等の結果はまだ出ていない
- 今後コア科目の教材開発提携の計画がある
- ④ 過去において企業との組織的、戦略的な教材開発提携が存在していた
- ⑤ 過去において企業との散発的な教材開発提携が存在していた
- ⑥ 企業との教材開発提携はしたことがない

2)-2. 企業との交流や提携で教材開発にかかった経費もしくはかかるだろうと予測する経費はどの程度でしょうか。

- ① 10 万円以上                      ② 50 万円以上                      ③ 100 万円以上
- ④ 500 万円以上                      ⑤ 1000 万円以上

## 3) インターンシップの現状について

3)-1. 貴校では、インターンシップをカリキュラムの必修単位として組み込んでいますか。

- ① 組み込んでいる
- ② 組み込んでいない
- ③ 選択制で組み込んでいる

3)-2. 3)-1 の質問で「①組み込んでいる」と答えた学校に伺います。インターシッの期間はどのくらいですか。

- ① 2週間以内                      ② 一ヶ月以内                      ③ 二ヶ月以内  
④ 三ヶ月以内                      ⑤ 三ヶ月以上

3)-3. 3)-1 の質問で「①組み込んでいる」と答えた学校に伺います。インターンシッの時期はどの時期ですか。

- ① 初年次前期                      ② 初年次後期                      ③ 卒業年次前期  
④ 卒業年次後期                      ⑤ その他の中間学年（3年制、4年制の場合の）

3)-4. 3)-1 の質問で「①組み込んでいる」と答えた学校に伺います。インターンシッの内容はどのようなものでしょうか（複数回答可）。

- ① 具体的で定量的な教育目標が存在している  
② 定性的な教育目標が存在している  
③ 特に教育目標は存在していない  
④ 1日単位のシラバスが存在している  
⑤ ある一定の期間単位のシラバスが存在している  
⑥ 全体のシラバスは存在している  
⑦ シラバスは存在しない（スケジュールは存在している）  
⑧ インターンシッに参加する知識や技術の前提がシラバスに明示されている  
⑨ インターンシッに参加する知識や技術の前提がシラバスに明示されていない  
⑩ シラバスは学校側が作成している  
⑪ シラバスは学校・企業で合同して作成している  
⑫ 企業側の作成した試験を行っている  
⑬ 学校側の作成した試験を行っている  
⑭ 企業・学校共同で作りに上げた試験を行っている  
⑮ 試験は行っていない（レポートなどに代えている）

3)-5. 3)-1 の質問で「①組み込んでいる」と答えた学校に伺います。インターンシップの費用はどのようにしていますか（複数回答可）。

- ① 学生から徴収している
- ② 学生からは徴収していない
- ③ 企業に提携料（経費も含めて）を支払っている
- ④ 企業に提携料（経費も含めて）を支払っていない
- ⑤ 企業に諸経費は払っている
- ⑥ 企業には一切支払っていない
- ⑦ 特に費用（交通費などは含まない）は発生していない
- ⑧ 費用（稟議の必要な費用）は発生しているが、学校負担で行っている

#### 4) 企業からの教員供給について

4)-1. 貴校では、企業から教員を供給して頂いていますか。

※ここで言う「企業からの教員供給」は、学校内の常勤教員では供給不可能な高度科目の設置、シラバスの開発、教材の開発、他科目への連携意識を担う教員供給を意味している。したがって、教材や教科書が学内に既に存在しており、それを使って（あるいはわずかばかりの自作補助教材を使って）企業供給の外部講師が行う「交流・連携」は、この場合の「交流・連携」とは見なさない。また外部講師（外部企業）の自作教材を使う場合でも、校内のカリキュラム全体（人材目標）を睨んで、その自作教材の修正が50%以上に達しないものをこの場合の「交流・連携」とは見なさない。

- ① 中長期的で組織的・戦略的な教員供給が存在している
- ② 不定期で短期の教員供給が存在している
- ③ 過去には中長期的で組織的・戦略的な教員供給があった（今はない）
- ④ 過去には不定期で短期の教員供給があった（今はない）
- ⑤ 企業からの教員供給はない

4)-2. 4)-1 の質問で、企業から教員を供給して頂いていると回答した学校にお伺いします。

企業からの教員供給における経費（提携料、講師料、教材開発費、交通費などの総額）はどのくらいですか。

（計算式は教員供給における「交流・提携全経費」÷「全在籍者実数」）

- ① 学生1人あたり 100 円以下
- ② 学生1人あたり 500 円以下
- ③ 学生1人あたり 1,000 円以下
- ④ 学生1人あたり 5,000 円以下
- ⑤ 学生1人あたり 10,000 円以下
- ⑥ 学生1人あたり 10,000 円以上

## 5) 学校からの教員供給について

### 5)-1. 貴校では、中長期的に継続的な教員供給が存在していますか。

※ここで言う「企業への教員供給」は、企業の作ったカリキュラムや教材（教科書）を使って行う講座（または研修）への教員供給を含まない。企業からの組織的な評価（学内のカリキュラム評価、教材評価、教員評価、教育力評価など）が認められる教員供給を意味し、かつ、その当該講座（または研修）の企業からの評価表、及び学校からの改善提案書が存在する場合に限る。

- ① 年間 10 時間以上の講座供給が 3 年以上にわたってある
- ② 年間 30 時間以上の講座供給が 3 年以上にわたってある
- ③ 年間 50 時間以上の講座供給が 3 年以上にわたってある
- ④ 年間 100 時間以上の講座供給が 3 年以上にわたってある
- ⑤ 中長期的に継続的な教員供給はしたことがない

※ 1 時間は 60 分と見なす。

### 5)-2. 貴校では、不定期で短期の教員供給が存在していますか。

- ① 年間 10 時間以上の講座供給が不定期に（2 年に一回以上）ある
- ② 年間 30 時間以上の講座供給が不定期に（2 年に一回以上）ある
- ③ 年間 50 時間以上の講座供給が不定期に（2 年に一回以上）ある
- ④ 年間 100 時間以上の講座供給が不定期に（2 年に一回以上）ある

### 5)-3. 貴校では、過去に中長期的で組織的・戦略的な教員供給がありましたか。

- ① 年間 10 時間以上の講座供給が 3 年以上にわたってある
- ② 年間 30 時間以上の講座供給が 3 年以上にわたってある
- ③ 年間 50 時間以上の講座供給が 3 年以上にわたってある
- ④ 年間 100 時間以上の講座供給が 3 年以上にわたってある
- ⑤ 中長期的に継続的な教員供給はしたことがない

### 5)-4. 貴校では、過去に中長期的で組織的・戦略的な教員供給がありましたか。

- ① 年間 10 時間以上の講座供給が不定期に（2 年に一回以上）ある
- ② 年間 30 時間以上の講座供給が不定期に（2 年に一回以上）ある
- ③ 年間 50 時間以上の講座供給が不定期に（2 年に一回以上）ある
- ④ 年間 100 時間以上の講座供給が不定期に（2 年に一回以上）ある

5)-5. 5)-1～5)-4 で「教員供給がある」と答えた学校にお伺いします。企業への教員供給における収入（提携料、講師料、教材開発費、交通費などの総額）はどのくらいですか。

5)-5-1 年間 10 時間以上の講座供給の場合で。

- ① 年間 10 万円以上      ② 年間 50 万円以上      ③ 年間 100 万円以上  
④ 年間 500 万円以上      ⑤ 年間 1000 万円以上

5)-5-2 年間 30 時間以上の講座供給で。

- ① 年間 10 万円以上      ② 年間 50 万円以上      ③ 年間 100 万円以上  
④ 年間 500 万円以上      ⑤ 年間 1000 万円以上

5)-5-3 年間 50 時間以上の講座供給で。

- ① 年間 10 万円以上      ② 年間 50 万円以上      ③ 年間 100 万円以上  
④ 年間 500 万円以上      ⑤ 年間 1000 万円以上

5)-5-4 年間 100 時間以上の講座供給で。

- ① 年間 10 万円以上      ② 年間 50 万円以上      ③ 年間 100 万円以上  
④ 年間 500 万円以上      ⑤ 年間 1000 万円以上

## 6) FD（教員職能開発）について

6)-1. 貴校は、FD について企業と提携して行っていますか。また、どのように行っていますか。

※①で言う組織的で戦略的な FD とは、学校の建学の精神や理念、およびコアコンピタンス形成にかかわる教育目標などの深化・改善や周知に関わる FD のこと。各部署を横断する学園全体の教務経営戦略を形成する FD のこと。理事長を含む学内理事、校長、管理職以上が必ず参加し、資料、研修記録が必ず存在するものでなくてはならない。そういった FD プログラムを卒業生企業の協力や将来の就職先ターゲット企業の協力を得て開発、実施していること。企業協力の程度はその FD 研修の全配付資料の 30%以上を占めていること。②の FD は①以外の FD 研修をも含んでいる。

- ① 企業提携の元に定期的に組織的で戦略的な FD を実施している  
② 企業提携の元に不定期で部署単位の FD を実施している  
③ 過去には企業提携の元に定期的に組織的で戦略的な FD を実施していた（今はない）  
④ 過去には企業提携の元に不定期で部署単位の FD を実施していた（今はない）  
⑤ 企業との連携で FD を実施したことはない

6)-2. 上記 6)-1 で①と答えた学校にお伺いします。年間に何回程度行っていますか。

- ① 年間 1 回以上      ② 年間 2 回以上      ③ 年間 3 回以上

6)-3. 上記 6)-1 で②と答えた学校にお伺いします。年間に何回程度行っていますか。

- ① 年間 1 回以上      ② 年間 2 回以上      ③ 年間 3 回以上

6)-4. 上記 6)-1 で③と答えた学校にお伺いします。年間に何回程度行っていましたか。

- ① 年間 1 回以上      ② 年間 2 回以上      ③ 年間 3 回以上

6)-5. 上記 6)-1 で④と答えた学校にお伺いします。年間に何回程度行っていましたか。

- ① 年間 1 回以上      ② 年間 2 回以上      ③ 年間 3 回以上

6)-6. 上記 6)-1 で①および②と答えた学校にお伺いします。協力企業への経費＋自校内経費の FD 総経費（実績ではなく年間予算）はどの程度でしょうか。

- ① 10 万円以下      ② 10 万円以上      ③ 30 万円以上  
④ 50 万円以上      ⑤ 100 万円以上

## 7. SD（スタッフ職能開発）について

7)-1. 貴校は、SDについて企業と提携して行っていますか。また、どのように行っていますか。

※①で言う組織的で戦略的な SD とは、学校の建学の精神や理念、およびコアコンピタンス形成にかかわる学務体制などの深化・改善や周知に関わる SD のこと。各部署を横断する学園全体の学務経営戦略を形成する SD のこと。理事長を含む学内理事、校長、管理職以上が必ず参加し、資料、研修記録が必ず存在するものでなくてはならない。そういった SD プログラムを卒業生企業の協力や将来の就職先ターゲット企業の協力を得て開発、実施していること。企業協力の程度はその SD 研修の全配付資料の 30%以上を占めていること。②の FD は①以外の FD 研修をも含んでいる。

- ① 定期的に組織的で戦略的な SD を実施している  
② 不定期で部署単位の SD を実施している  
③ 過去には定期的に組織的で戦略的な SD を実施していた（今はない）  
④ 過去には不定期で部署単位の SD を実施していた（今はない）  
⑤ 企業との連携で SD を実施したことはない

7)-2. 上記 7)-1 で①と答えた学校にお伺いします。年間に何回程度行っていますか。

- ① 年間 1 回以上      ② 年間 2 回以上      ③ 年間 3 回以上

7)-3. 上記 7)-1 で②と答えた学校にお伺いします。年間に何回程度行っていますか。

- ① 年間 1 回以上      ② 年間 2 回以上      ③ 年間 3 回以上

7)-4. 上記 7)-1 で③と答えた学校にお伺いします。年間に何回程度行っていましたか。

- ① 年間 1 回以上      ② 年間 2 回以上      ③ 年間 3 回以上

7)-5. 上記 7)-1 で④と答えた学校にお伺いします。年間に何回程度行っていましたか。

- ① 年間 1 回以上      ② 年間 2 回以上      ③ 年間 3 回以上

7)-6. 上記 6)-1 で①および②と答えた学校にお伺いします。協力企業への経費＋自校内経費の FD 総経費（実績ではなく年間予算）はどの程度でしょうか。

- ① 10 万円以下      ② 10 万円以上      ③ 30 万円以上  
④ 50 万円以上      ⑤ 100 万円以上

## 8) 就職指導（就職提携）について

8)-1. 貴校は、企業と何らかの就職提携をされていますか。またどのような就職提携をされていますか（複数回答可）

※ここで言う①の「就職提携」とは、自校の就職企業群の中でももっとも有意な（自校で見なす）企業層との提携を意味している。特にカリキュラム目標とミスマッチのない企業（学んだことを最大限活かせ、長期的にその企業の業績を担える企業）への就職を実現するための、優秀学生と有意企業とのスムーズで継続的な連携のための体制作りができていくかどうかを問う。②の「散発的な」就職提携とは、カリキュラムの教育目標とは関係のない個別企業、学生の成績の優劣とは直接には関係のない個人的な（場合によっては教員の個人的な）就職提携（就職協力）を意味する。

- ①教育目標（カリキュラム）と整合性のある組織的な就職提携が存在しており、就職先が高度化した実績がある  
②教育目標と整合性のある組織的な就職提携が存在してはいるが、未だ就職先が高度化した等の実績はない  
③教育目標と整合性のある組織的な就職提携をする計画がある  
④散発的な就職提携が存在している  
⑤過去には、教育目標と整合性のある組織的な就職提携が存在していた  
⑥過去には、散発的な就職提携が存在していた  
⑦未だ企業と就職提携的なことはしたことがない

## 9) 卒業生交流について

9)-1. 貴校には、同窓会組織はありますか。

- ① ある                      ② ない

9)-2. 上記 9)-1 で①あると答えた学校にお伺いします。同窓会の開催は定期的に行われていますか。

- ① 定期的に行われている      ② 1年に一回開催されている  
③ 2年に一回開催されている      ④ 3年に一回開催されている  
⑤ 定期的に行われていない

9)-3. 上記 9)-1 で①あると答えた学校にお伺いします。同窓会の事務局（担当者の有無）をお伺いしますか。

- ① 事務局が存在している      ② 事務局は存在していない  
③ 担当者が存在している      ④ 担当者は存在しない  
⑤ 専任の担当者がいる      ⑥ 非常勤の担当者がいる

9)-4. 上記 9)-1 で①あると答えた学校にお伺いします。会費は徴収していますか。

- 同窓会会費は徴収していない  
 同窓会会費を年間5千円以内程度で徴収している  
 同窓会会費を年間1万円以内程度で徴収している  
 同窓会会費を年間1万円以上徴収している

9)-5. 上記 9)-1 で①あると答えた学校にお伺いします。卒業生の名簿の整理は行っていますか。

- ① 定期的に行っている      ② 不定期だが行っている      ③ 行っていない

9)-6. 上記 9)-1 で①あると答えた学校にお伺いします。同窓会一回あたりの平均参加者数はどれくらいですか。

- ① 50名未満                      ② 100名未満                      ③ 300名未満  
④ 500名未満                      ⑤ 1,000名未満                      ⑥ 1,000名以上

9)-7. 上記 9)-1 で①あると答えた学校にお伺いします。貴校が同窓会に期待していることは何ですか。

- ① 卒業生間、教員卒業生間の交流・懇親
- ② 学生紹介（募集協力の依頼）
- ③ 企業情報（企業ニーズ）の入手
- ④ 人材情報の入手（教員紹介など）
- ⑤ その他

## 10) 学校後援会について

10)-1. 貴校には、後援会会費を徴収できる後援会を組織していますか。

- ① 組織している
- ② かつては組織していた
- ③ 組織していない

10)-2. 10)-1 で①組織していると答えた学校にお伺いします。後援会の規模はどのくらいですか。

- ① 50 社未満
- ② 50 社以上
- ③ 100 社以上
- ④ 200 社以上
- ⑤ 300 社以上
- ⑥ 500 社以上

10)-3. 10)-1 で①組織していると答えた学校にお伺いします。後援会費はどのような使用目途で使われますか（複数回答可）。

- ① 奨学金
- ② 後援会による就職説明会経費
- ③ 後援会主催によるイベント（講演会など）
- ④ 後援会報の発行
- ⑤ 事務局経費
- ⑥ その他